

食ロス！の巻

ごみまるです。

今やみなさまお馴染みのキーワードになりつつある「食品ロス削減！」についてお話しさせてください。

前回、3Rの巻にて一番大切な取り組みとして「Reduce（リデュース）」（ごみを出さない、減らす）についてお話しさせていただきましたが、食品ロス削減はリデュースに結び付く大切な取り組みです。

また、世界的な取り組みであるSDGsの17個の目標のうち、目標12（つくる責任 つかう責任：持続可能な消費と生産のパターンを確保）するにも大きくかわる取り組みとして、食品ロス削減は大注目です。

食べきれずに捨ててしまったり、賞味期限が切れて手つかずのまま捨ててしまったり。食品ロスは食べ物がもったいないだけではなく、お財布にも優しくないですね。

また、過剰除去といって、野菜や果物の皮を厚くむき過ぎて、食べられる部分を捨ててしまうことも食品ロスの一環です。

外食は食べきれぬ量を注文！外食ってわくわくですよ、つい、あれもこれも食べてみたいって思ってしまいます。

けれど、ぐっところえてまずは食べきれぬかを考えてみませんか？そして残してしまったら持ち帰ることができないか、お店のひとに尋ねてみましょう。

買い物前に冷蔵庫チェック！お買い物へ毎日行くのは面倒だな、まとめて買っておこう、と思ってしまうのは人情ですが、ここも勢いに任せてまとめて買わず、ぐっところえて戦略を練ってみませんか？

冷蔵庫の中には何があったかな？これを買ったらいつ食べよう？余った食材をどう活かそう？食品購入は頭脳戦ですね。楽しく、賢く、地球に優しい戦略を立ててみませんか。

様々な要因からロスされてしまう食品、けれども様々な方法でこのロスを防ぐことができます。

みなさんもお自身なりのロス削減方法を考えてみてはいかがでしょうか？そして、
ぼくにも教えてくださいね。素敵な取り組みはみんなで共有しましょう。

最後に、色々と語らせていただきましたが、詰まるところ食品ロスって、食べる
ことができるのに、捨てられてしまうっていう、とても悲しいできごとです。
食品ロス削減！世界的な目標を抜きにして、みなさんの心にもっともっと根付
いてもらいたいなとぼくは思いました。

【ごみまる放談について】

「ごみまる放談」は環境問題への興味、関心を持っていただくための導入部
分として作成いたしました。

広い年齢層に気軽に読んでいただくことに主眼を置いたため、話し言葉や多
少ふざけた表現が含まれております。

不明瞭、不適切などのお気づきの点がございましたら、資源循環課減量推進
係（電話048-228-5370）までご指摘いただければ幸いです。